

平成29年度食育関連事業実績調査 一覧

資料4-2

主な利用者 ライフステージ		事業名	対象者	実施回数	担当課
1：乳幼児期 (0歳から6歳 頃)	1	給食提供	在所児	通年実施	保育支援課
	2	会食	在所児(幼児)	通年実施	保育支援課
	3	野菜の栽培・収穫	在所児	通年実施	保育支援課
	4	防災備蓄食材の提供	在所児	通年実施9月1日(防災の日)	保育支援課
	5	弁当箱給食	在所児(幼児)	通年実施(6月～9月以外)	保育支援課
	6	食材に触れる	在所児	通年実施	保育支援課
	7	箸の持ち方 指導	5歳児	必要に応じて	保育支援課
	8	三色食品群の学習	在所児(幼児)	通年実施	保育支援課
	9	餅つき	在所児	年に1回程度	保育支援課
	10	豚汁パーティカレーパーティ	在所児(幼児)	年に数回程度	保育支援課
	11	焼き芋大会	在所児	年に1回程度	保育支援課
	12	調理体験	在所児(幼児)	通年実施	保育支援課
	13	調理体験	在所児(幼児)	通年実施	保育支援課
	14	情報提供	在所児保護者	通年実施	保育支援課
	15	園庭開放・すきっぷ・ぬくぬく	地域在住の子育て世代の市民	通年実施	保育支援課
	16	園庭開放・すきっぷ・ぬくぬく	地域在住の子育て世代の市民	通年実施	保育支援課
	17	リクエストメニュー	在所児(5歳児)	年1回	保育支援課
	18	1歳6か月児健康診査	満1歳6か月から2歳未満までの幼児及び保護者	44回	母子保健係
	19	3歳児健康診査	満3歳から4歳未満までの幼児及び保護者	34回	母子保健係
	20	親と子の歯みがき教室	歯が生えている乳児及び保護者	11回	母子保健係
	21	はじめての歯科健診	1歳児及び保護者	24回	母子保健係
	22	幼児歯科健診	2歳・2歳6か月・4歳・5歳児等	71回	母子保健係
	23	保育所等巡回歯科保健指導	保育所などに在籍する幼児及び保護者等	41施設	母子保健係

2：学童期から 思春期 (7歳から19歳頃)	1	食に関する指導(授業)	小学生中学生	小：114回 中：7回	学務保健課
	2	学校訪問	小学生中学生	小：87回 中：28回	学務保健課
	3	社会科見学	小学生	小：10回	学務保健課
	4	ランチタイムズ	小学生中学生保護者	小：年11回 中：年3回	学務保健課
	5	食に関する原稿の提供(給食時間)	小学生中学生	小・中：年11回発行	学務保健課
	6	親子3R教室～親子で楽しむエコ・レシピ～	市内小学生親子	1回	ごみ減量推進課
	7	東京農工大学新入生対象食育講座	東京農工大学1年生「食糧・環境問題」授業	1回	成人保健係
3：青年期 (20歳から39歳頃)	1	P T A家庭教育学級	各単位P T A会員である親等	5回	文化生涯学習課
	2	夏の親子ふれあい農園	小中学生とその保護者	1コース(10回)	経済観光課
	3	秋の親子ふれあい農園	小中学生とその保護者	1コース(10回)	経済観光課
	4	農業プチ講座	小中学生とその保護者	1コース(7回)	経済観光課
	5	学童農園	小学校児童	15校・	経済観光課
	6	市民農業大学稲作コース	市民	1コース(5回)	経済観光課
	7	市民農業大学秋野菜コース	市民	1コース(7回)	経済観光課
	8	離乳食教室	生後18か月までの乳幼児の保護者	59回	母子保健係
	9	はじめてのパパママ学級	妊娠16週から32週までの間にある初妊婦	10回	母子保健係
	10	妊婦歯科健康診査	妊産婦(妊婦：16週から31週、 産婦：出産後1年以内で妊娠中未受診者)	保健センター：11回 協力医療機関：年間	母子保健係
	11	若年層健康診査 食生活アンケート	若年層健康診査受診者(18～39歳)	健診データ抽出後	成人保健係
	12	食生活相談会	東京農工大学生東京外国語大学生	3回	成人保健係
4：中年期から 初老期 (40歳から64歳頃)	1	試食会	保護者	小23回・中4回	学務保健課
	2	栄養改善事業食生活応援講座	市民	5回	成人保健係
	3	骨粗しょう症健診時健康教育	はじめての歯科健診を受診する子の母親	3回	成人保健係
	4	栄養講演会	市民	1回	成人保健係
	5	食育月間啓発事業	保健センター来所者	1回	成人保健係
	6	給食センター一般施設見学・試食	幼稚園児保育園児一般市民	78回	学務保健課
	7	講演会	幼稚園保護者小学校保護者学校薬剤師教職員	小：8回	学務保健課
	8	家庭配布用献立表	小学生中学生保護者	年11回発行	学務保健課

5：高齢期 (65歳以上)	1	交流給食ふれあい給食	幼児児童地域の方	小：35回	学務保健課
	2	食べるカムくらぶ	65歳以上の市民でご自身で体調管理ができる方	4教室	高齢者支援課
	3	栄養・口腔マシン教室	65歳以上の市民で、自分で通所・体調管理ができ、医師からの運動制限がない方	2教室	高齢者支援課
	4	上記以外の介護予防3か月教室内の栄養及び歯科の講座	65歳以上の市民で、自分で通所・体調管理ができ、医師からの運動制限がない方	栄養講座26回 歯科講座19回	高齢者支援課
	5	府中市高齢者訪問食事サービス事業	一人暮らしの高齢者又は高齢者のみで構成される世帯あるいは、高齢者及び障害者のみで構成される世帯に属する高齢者で本人や家族が食事の確保の調整が難しく安否確認の必要性が高い方	延約465食	高齢者支援課
	6	栄養及び歯科の講座及び相談	65歳以上の市民	栄養講座19回 歯科講座13回	高齢者支援課
	7	健口お届け便	65歳以上の市民	2教室	高齢者支援課
その他 全市民	1	ふちゅうカレッジ出前講座	市民	2回	文化生涯学習課
	2	地区公民館講座	事業ごとに対象年齢が設定されることがあるが基本的に	20回	文化生涯学習課
	3	摂食・嚥下機能支援事業 (歯科医療連携推進事業)	市民(摂食嚥下機能が心配な方)	随時 講演会1回	成人保健係
	4	成人歯科健康診査 (若年層歯科健康診査・歯周疾患健康診査・高齢者の口腔機能健康診査)	18歳以上の市民	9～10月の 2か月間	成人保健係
	61事業				

《各課の課題・成果》

○保育支援課

様々な事業を行うことで、子どもたちの食の興味・関心の幅が広がっている。
また子どもからの発信で保護者の意識も高まるように感じる。
保育所と家庭との共有が子どもたちの心身ともに健康な体づくりにつながると思う。

○学務保健課

・食に関する指導(授業)は小・中ともに昨年度よりも実績をのばすことができた。しかしまだ実績のない小・中学校も多いため、今後、積極的に授業の実施に取り組むことが課題である。
・給食センターの移転後、一般施設見学の受け入れを実施することで、多くの市民の方に給食づくりに関する情報等の提供をすることができた。
また、社会科見学の実施回数も昨年度より増え、より多くの児童へ給食に対する興味・関心を高めることができた。

○高齢者支援課

高齢者に対する教室や講座等の実施であり、想定していた成果は得られた。
課題としては、介護保険サービスを利用する方等に対して、運動と栄養指導を組み合わせたサービスを提供することにより、要支援状態からの改善や介護認定非該当の維持を図っていくための施策を検討する必要がある。

○ごみ減量推進課

事業実施後のアンケートで多くの参加者が、「食品ロスに関する意識が高まった」と回答していることから、本事業は食品ロス削減の啓発に効果的であると考えられる。
料理教室の講師を外部委託(市民または事業者)しているが、本課で把握している委託先が限られているので、長期的に安定して講師を委託できなくなる恐れがある。
そのため、他課の料理教室系事業の委託講師の情報を共有することで、行政の料理教室に精通した人材をより多く把握でき、安定的な事業の実施に繋がると考えられる。

○経済観光課

農業体験講座については、参加者の満足度も高く、農産物をはじめとした食に対する意識啓発の一助になっていると感じている。

○健康推進課

- ・3歳にむけたエプロンシアターは興味を示す子が多く、指導媒体としてよかったと感じている。
- ・離乳食に関心のある人は多いが、妊娠中の食事は不足傾向であるし自炊も難しい人が多いように感じる。

食生活応援講座の実習レシピ作成については、栄養改善推進員(市で養成している栄養・食に関するボランティア活動をしている自主グループ)の協力を得ることができた。今後はレシピ作成のみでなく、講座の企画や当日の運営等も協働で実施し、より地域に密着した事業運営を検討していきたい。
食育月間啓発事業では、主に保健センター来所者への啓発となっているため、今後は広く普及啓発できるよう、手法を検討していきたい。

《朝食の欠食を減らす取組について》

取組を実施している課: 保育支援課 学務保健課 健康推進課

今後の取組:

- ごみ減量推進課:**③⑤⇒12月の親子3R教室で朝食についてのリーフレットを配布(保護者7名に対し)
高齢者支援課:⑥ 対象が高齢者なので欠食というより栄養バランスの取れた食事に関する啓発を行いたい
学務保健課・保育支援課:すでに課の方で媒体を作成し配布しているが、資料の配布は可能